

地方創生先行型交付金実施計画

1 大多喜町総合戦略策定事業（企画財政課企画政策係）

対象事業の概要（目的）	緑に囲まれた豊かな自然が織りなす四季折々の景観と大多喜城のもとに栄えた城下町として歴史を色濃く残す本町の地域性や圏央道の開通による地の利を活かした交通政策などにより、人口減少に歯止めをかけるべく「大多喜町総合戦略」を策定するために必要な専門的な調査を実施する。
事業の概要 （交付金を充当する経費内容）	専門的調査の実施経費 ・町民意識調査（結婚、出産、U I J ターン）、町外住民向けWEBアンケート等の実施経費 ・有識者会議の開催支援 ・人口ビジョン、総合戦略案に関する意見集約、策定支援 ・「地方人口ビジョン」、「地方版総合戦略」の冊子印刷製本費
補正予算額	7, 1 6 1 千円（交付金 6, 8 0 0 千円、一般財源 3 6 1 千円）
補正予算内訳	総合戦略策定委託料 7, 1 6 1 千円

2 公共交通政策事業（企画財政課政策戦略室）

対象事業の概要（目的）	大多喜発着の羽田空港経由品川駅（予定）への新規高速バス運行を図り、都心と大多喜町の距離を近づけて、通勤、通学を容易にし、定住化や移住を図る。更には、観光客の誘致につなげ地域の活力を高める。 羽田空港への乗り入れに際し、事業者の初期投資額支援と、今後の利用者の利便性と利用者の増加により、人口流出の抑制を図るため支援する。
事業の概要 （交付金を充当する経費内容）	平成28年度に投資額の助成を行い、高速バスの運行を実現する。バス運行は、当初から採算性の高い利用者は見込めないことから、検証期間を5年設け、その間の赤字分の助成を図り運行後4年度以降は黒字に転換することを目標にしている。 高速バス運行に係る支援：羽田空港乗り入れ初期経費として2社へ300万円の支援 人口流出を防ぐための支援：大多喜町から高速バス利用の通学者へ定期代金を個人に対して一カ月2万円の助成
補正予算額	6, 2 0 0 千円（交付金 6, 0 0 0 千円、一般財源 2 0 0 千円）
補正予算内訳	高速バス運行補助金 6, 0 0 0 千円、高速バス定期券補助金 2 0 0 千円

3 小さな拠点事業（企画財政課政策戦略室）

対象事業の概要（目的）	上総中野駅は、いすみ鉄道と小湊鉄道の終着駅となっており、内房と外房を結ぶ重要な駅である。 駅周辺は、地域の人口の著しい減少、少子高齢化に伴い、鉄道利用者は減少を続け、閑散としている。 上総中野駅周辺には、集落が点在しており、交通空白地域や路線バスが運行している地域も、朝晩以外の本数は少なく、地域住民からは公共交通政策の実現を求められている。このため、本年３月に地域公共交通網形成計画を策定するため、法定協議会を設置する予定である。上総中野駅を小さな拠点として、コンビニエンスストア、いすみ鉄道グッズの販売、農産物直売施設及び高齢者から子どもまでが集える場所を整備する。 また、大塚山ハイキングコースを訪れる人や観光客が利用できることにも重点を置くとともに、公共交通の拠点とすることにより地域住民を駅に集約できるように効果的な事業とする。
事業の概要 （交付金を充当する経費内容）	拠点施設設計に係る経費：設計プロポーザル謝礼６０万円、委員謝礼３６万円、旅費１万９千円、食糧費１万１千円、通行料（高速）１万円
補正予算額	１，０００千円（交付金 １，０００千円）
補正予算内訳	委員謝礼３６０千円、プロポーザル謝礼６００千円、旅費１９千円、会議用食糧費１１千円、通行料１０千円

4 結婚支援のための拠点づくり事業（生涯学習課社会教育係）

対象事業の概要（目的）	町では少子化が進み、その要因の一つとしては、晩婚化や未婚者の増加により、出生率の低下にも繋がっている。 この解消を図るためには、若い男女が知り合う機会を増やし、２０歳代で結婚し、出産することが望まれる。 町では、平成２年度まで青年団があり、若い男女が会える貴重な場となっていたが、時代の流れとともに団員数が減少し、解散している。 現在、町では婚活を年２回開催しているが効果は少なく、継続的に男女が知り合える場として、青年を対象とした拠点を中央公民館内に作り、趣味を同じにする者の出会いの場を多く開催することにより、若いうちに多くの異性と出会い、町内に在住する若者が少しでも早く結婚できる機会を多く作り、人口増加対策とする。
事業の概要 （交付金を充当する経費内容）	出会いの場イベント開催に係る経費： イベント開催費９０万円、旅費１０万円
補正予算額	１，０００千円（交付金 １，０００千円）
補正予算内訳	結婚支援事業補助金 １，０００千円（全額）バス借上料（３泊４日）、交通費（一部補助）インストラクター、レンタル、リフト代、懇親会経費・・・個人負担あり

5 空き家対策事業（企画財政課企画政策係）

対象事業の概要（目的）	大多喜町は、都心から１時間程度で豊かな自然と歴史情緒が残る城下町など地域の魅力をPRすることにより移住促進を推進する。 半面、大多喜町の空き家の登録件数は少ないのが現状である。空き家の把握を行い空き家の数は多いが、登録、賃貸の物件にまでは至っていない。田園回帰のいま、移住者の受入態勢を整備し人口増対策を行う。 また、空き家登録への障害の一つとなっている家財道具撤去について撤去費用の一部を支援し空き家登録の促進を図る。
事業の概要 （交付金を充当する経費内容）	把握した空き家を、登録、賃貸物件とするため移住専門員の費用と各地域住民の協力を得ながら移住相談の対応を併せて行い、受入態勢を整備する。（日当7,800円、通勤費200円／日、年間150日、地区協力者謝礼3,000円／物件3件まで、4件目以降はプラス1,000円） 空き家家財道具撤去支援：（補助率1／2、上限20万円 5件）
補正予算額	2,500千円 （交付金 2,000千円、一般財源 500千円）
補正予算内訳	移住専門員賃金 1,200千円、地区協力者謝礼300千円、空き家登録時家財道具撤去補助金 1,000千円

6 お試し居住事業（企画財政課企画政策係）

対象事業の概要（目的）	大多喜町は都心から近く歴史情緒が残る城下町の街並みや、養老溪谷自然公園に指定された溪谷一帯には、栗又の滝やハイキングコースがあるなど自然豊かな町である。 人口増対策として、各イベントで行われる移住者相談会などを活用し大多喜町の魅力を発信し本町に住んでみたいと思う方には、おためし居住という形で地域に住み様々な事を経験してから移住を判断してもらい安定した定住に繋げる。
事業費積算内訳 （交付金を充当する経費内容）	おためし居住の受入整備等：おためし居住の借上げ他150万円 各種イベント時PR用パンフレット作成 100万円
補正予算額	6,000千円 （交付金 2,500千円、一般財源 3,500千円）
補正予算内訳	印刷製本費 800千円、その他修繕料 3,500千円、施設使用料 200千円、 空き家借上料 1,500千円

7 特徴ある教育の展開事業「英語教室」（子育て支援課子育て支援係、教育課学校教育係）

対象事業の概要（目的）	「特徴のある教育がある町」をPRし移住者を増やしたい。 現在、町独自に保育園から中学校まで一貫した英語教育を地元大学との連携により実施する。 また、保育園の年小児から年長児とその保護者を対象に、親子英語教室を休日に実施することにより、英語教育を始めとした人材育成、更には、共働き家庭にとっての貴重な親子での活動の場となる事業として実施する。
事業の概要 （交付金を充当する経費内容）	親子英語教室：親子での学びとふれあう機会の提供 講師謝礼 20 万円、印刷製本費 8 万円、需要費 20 万円 保育園えいごあそび教室：保育園の年少児から年長児を対象に開催に伴う委託料（年 9 7 2 千円） 小学校低中学年英語教室：小学校 1 年生から 4 年生までを対象に開催に伴う委託料（年 5 8 9 千円）
補正予算額	2, 0 4 1 千円（交付金 1, 8 0 0 千円、一般財源 2 4 1 千円）
補正予算内訳	各種講座等講師謝礼 2 0 0 千円、その他消耗品 2 0 0 千円、印刷製本費 8 0 千円、 英語教室業務委託料 保育園分 9 7 2 千円、小学校分 5 8 9 千円

8 外国人観光客誘致事業（産業振興課商工観光係）

対象事業の概要（目的）	平成 2 6 年 1 0 月に、いすみ鉄道と台湾の集集線が姉妹鉄道提携を結んだことを契機に、主として台湾観光客を対象とした誘致事業を実施する。 大多喜町は、豊かな自然や台湾の方が好むお城、大多喜城があり、また圏央道の開通により羽田空港や成田空港からのアクセスが改善されたことにより、外国人観光客を大多喜町へ誘致し本町の活性化に繋げる。 いすみ鉄道はもとより、大多喜城や町内で活動している手作り甲冑隊等と連携して甲冑の試着体験、古民家などの観光やイベント（餅つき、着物着付け）の実施により日本らしさという付加価値を付け、交流人口の拡大と宿泊客の増加を図り、観光施設や宿泊施設の雇用促進を図る。 また、これに併せ外国人観光客受入態勢として看板標記やパンフレットの作成、対応などを整備していく。
対象事業の概要 （交付金を充当する経費内容）	外国人観光客： 羽田空港、成田空港からの旅行経費の支援、パンフレット作成費及び情報発信に係る経費
補正予算額	2, 5 0 0 千円（交付金 2, 0 0 0 千円、一般財源 5 0 0 千円）
補正予算内訳	観光ツアー委託料 2, 5 0 0 千円

9 施設園芸就農者支援事業（産業振興課農林係）

対象事業の概要（目的）	施設園芸農家を育成することにより、生産力を強化拡大し、農産物を消費者に届けるため、ニーズに対応した産地育成に必要な生産用施設や老朽化等により生産性の低下した園芸施設の改修等に対して助成する。 また、しごとづくりの支援として、おためし居住事業で大多喜町に住みながら農業体験などを経験後、移住して農業を希望する方は直ぐに施設園芸をスタートすることが可能となる。この事業によって、地方へ移ると同時に仕事をすることが可能となる。
対象事業の概要 （交付金を充当する経費内容）	就農のための施設整備費用を個人へ助成： 新規ハウス設置：（補助率1／2、限度額150万円、ハウス面積100㎡以上） 暖房機器（据置型）：（補助率10／10、限度額20万円） 施設リフォーム：（ビニール張替）（補助率10／10、限度額20万円） 本事業は個人への助成である。事業の実施の際に対象就農者は、就農計画書及び出荷計画書、設置実績報告書、就農実績報告書、出荷実績報告書の提出を義務とする。
補正予算額	3,800千円（交付金 3,500千円、一般財源 300千円）
補正予算内訳	施設園芸就農者支援事業補助金 3,800千円

10 空き家等を活用した起業支援事業（産業振興課商工観光係）

対象事業の概要（目的）	空き家や空き地を活用し開業をする場合に、起業支援として助成を行う。 城と湊谷の町である大多喜町は、四季を通じて観光客が訪れている。街並みに従来からある商店は、後継者問題で閉店を余儀なくされ、土産の購入や休憩が出来るような商店は数が少なく閑散としている。 この事業を実施することにより、観光客のみならず地元住民の交流の場に繋げ、町を活性化させたい。
対象事業の概要 （交付金を充当する経費内容）	空き家等を活用した起業家個人へ150万円の支援（1件）
補正予算額	1,500千円（交付金 1,500千円）
補正予算内訳	空き家等活用起業支援事業補助金 1,500千円

1 1 旧老川小学校活用事業（小さな拠点）（企画財政課管財係）

対象事業の概要（目的）	旧老川小学校周辺は、千葉県立養老溪谷奥清澄自然公園に指定され豊かな自然に囲まれている。 老川地域の中心に位置している旧老川小学校は、自然に調和した木造の教室であったが2年前に児童の減少によって閉校となり、現在は、災害時の避難場所や選挙の投票所として使用している。 学校の有効活用と地域の活性化を図るため、事業者を公募し、研修型体験観光施設案（エコ・フューチャーセンター@老川）を提案した事業者と協議を重ねてきたが、自立性（成算性）や地域との交流に欠ける点が多く、町が3年間運営し、その間の利用状況に応じて判断することとなった。 町では、この施設の管理を地域の団体等に依頼し、地域の人達の交流活動の場にするとともに、先進的な田舎として宿泊施設と一体となったICT研修や各種セミナー、キャンプ、合宿などの利用を事業者とともに発信し、廃校利用の先進的なモデル事業とし、交流人口の増加、地域の活性化、雇用の促進を図るものである。 なお、財政的支援（補助）については、施設の大規模な修繕を除き、3年間に限り実施するものである。
交付事業の概要 （交付金を充当する経費内容）	施設整備及び運営管理経費として：空き校舎活用事業補助金300万円 内訳：賃金 $6,500 \times 20 \text{ 日} \times 12 \text{ 月} = 1,560,000 \div 150 \text{ 万円}$、修繕（清掃）費 100 万円、ICT整備 50 万円
平成27年3月補正額	3,000千円（交付金 3,000千円）
補正予算内訳	空き校舎活用事業補助金 3,000千円